

令和6年度「公共的空間活用による歩きたくなるまちづくり推進事業 (サッポロウォーカーブル実証実験)」審査結果及び講評資料

<採択事業> 3件

■コンサふれあい通りのホコテン化プロジェクト

- ・観光客も多く歩行者の安全性が課題となっている地区において、道路空間を歩行者天国化することで、歩行者の安全性を確保するとともに、道路で隔てられた2つの施設と連携しにぎわい創出を図る取組となっていることを評価し採択とした。

■真駒内駅前地区ウォーカーブル実証実験

- ・地下鉄駅前の人優先の空間としてにぎわいや交流の創出が求められる地区において、駅前空間（道路空間）の活用することで、新たなにぎわいや交流の創出が期待できる取組となっていることを評価し採択とした。

■平岸夏祭り

- ・既に定期的・継続的に「平岸マルシェ」の取組を行っている地区において、道路空間の活用範囲の拡大と公園活用を新たに行うことで、滞留時間を延ばし交流・にぎわいの拡充を期待できる点を評価し採択とした。

<不採択事業> 3件

■食べ歩きフェス清田通

- ・多様な主体が連携し、一か所だけでなく複数店舗を活用することで回遊性が期待できる点については評価。また、各店舗の駐車場を公共的な空間として活用するアイデアに新規性は感じるものの、店舗の屋外展開に留まっており、公共的な活用にはもう少し工夫が必要であるため不採択とした。

■新さっぽろ3×3フェスティバル

- ・健康増進と親和性の高いスポーツに関する新たな取組であり、にぎわい創出効果も期待できる点は評価。一方で、公共的空間活用の観点では、現在も継続的にイベントが開催されている交流広場等での実施にとどまっており、新規性に欠けることから不採択とした。

■すいすい車いすマップPJ

- ・ユニバーサル社会実現の観点から、車椅子で移動できるルートの可視化などは非常に重要な取組であると認識している。しかし、今回の実証実験は公共的空間の活用をテーマとしており、そのテーマに即していないと判断し不採択とした。

<審査対象外> 1件

■本郷通「よりみち広場」事業

- ・商店街におけるウォークブルの推進は重要なテーマであるが、募集要項に適合していないため審査対象外とした。(札幌市内のうち地域交流拠点※の中心部から約1km圏内(徒歩圏域)の範囲に入っていない)